

日・WHO フォーラム 2018 について

- 名 称： 日・WHO フォーラム (WHO-Japan Forum) 2018
～ICD-11・ICF 大活用時代の扉を開く～
- テーマ： ICD-11 公表記念、改訂の集大成と今後の展望
ICF と一体の導入・普及加速
- 日 時： 2018 年 11 月 30 日 (金)
- 会 場： UN ハウス (国連大学) 3 階ウ・タント国際会議場 (東京)
- 主 催： 厚生労働省
- 共 催： 一般社団法人 日本内科学会
- 後 援： 公益社団法人 日本医師会、日本医学会、
一般社団法人 日本病院会日本診療情報管理学会、
日本東洋医学サミット会議 (JLOM : The Japan Liaison of
Oriental Medicine) 等

プログラム：別紙参照

当日配布資料： ICD-11 改訂と日本、プログラム

http://kanographics02.sakura.ne.jp/test/who-fic-japan.jp/report_who_japan_forum2018.html?id=section

参加者：ICD-11 改訂関係者、疾病、傷害及び死因分類専門委員会委員、
生活機能分類専門委員会委員、日本 WHO 国際統計分類協力センター
一般他 (計約 300 名)

【プログラム】

第一部

ICD-11 公表記念シンポジウム

モデレーター：

奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授 今村 知明
 (平成 30 年度厚生労働科学研究 ICD-11 国内適用検討会議長)
 厚生労働省政策統括官付参事官付国際分類情報管理室長 森 桂

10:00-10:30 **開会挨拶**

- ・厚生労働省政策統括官(統計・情報政策、政策評価担当) 大西 康之
- ・WHO 国際統計分類・用語及び標準化部門長 ロバート・ヤコブ
- スペシャルメッセージ～ICD-11 公表を祝し今後の発展に向けて～**
- ・日本病院会 会長 相澤 孝夫
- ・日本医学会 会長 門田 守人
- ・日本内科学会理事長 矢富 裕

10:30-10:50 **ICD-11 改訂における内科 TAG の果たした役割**

国際医療福祉大学大学院院長 三浦 総一郎

10:50-11:05 休憩

11:05-11:45 **ICD-11、改訂プロセスとそのエッセンス** ロバート・ヤコブ11:45-12:05 **ICD-11 V チャプター ～国際生活機能分類とのリンクが拓く地平～**

WHO 国際統計分類・用語及び標準化部門テクニカルオフィサー
 ネナド・コスタンチェック

12:05-12:25 **ICD-11 国内適用の展望**

モデレーター

12:25-12:55 **質疑応答**12:55-13:00 **閉会挨拶**

今村 知明

第二部

WHO 公開講座 「WHO 担当官による ICF 講座」

モデレーター：ロバート・ヤコブ、ネナド・コスタンチェック

14:30-15:20 **ICF 講座**

ネナド・コスタンチェック

- ・われわれはどこから来たのか？
-ICF そして障害・生活機能分類の歴史と論点
- ・われわれはどこにいるのか？
-ICF の現状及び活用について
- ・われわれは、どこに向かっているのか？
-Well-being に資する共通言語としての活用の展望

15:20-15:50 **ICD と ICF の一体としての統計への導入の可能性**

藤田医科大学医学部

リハビリテーション医学 I 講座准教授 向野 雅彦

国立保健医療科学院主任研究官

大塚賀 政昭

15:50-16:20 **Q&A セッション (フロアと WHO)**16:20-16:30 **閉会挨拶**

厚生労働省参事官(企画調整担当)

中井 雅之